

2014年11月20日

[味香り戦略研究所 自主調査結果リリース] 【特別版】

速報！

**2014年ボジョレーヌーヴォー解禁
酸味や複雑さ、渋味の余韻が充実&ライトなボディ感
2006年ボジョレーヌーヴォーの味わいにも類似か？**

味や香りを科学的な手法で分析、評価する株式会社味香り戦略研究所（本社：東京都中央区／代表取締役：小柳道啓）は、2014年11月20日 木曜日解禁となったボジョレーヌーヴォーの味わいについて味覚センサーにより分析を実施しました。

【ぶどうの生育状況と予測】

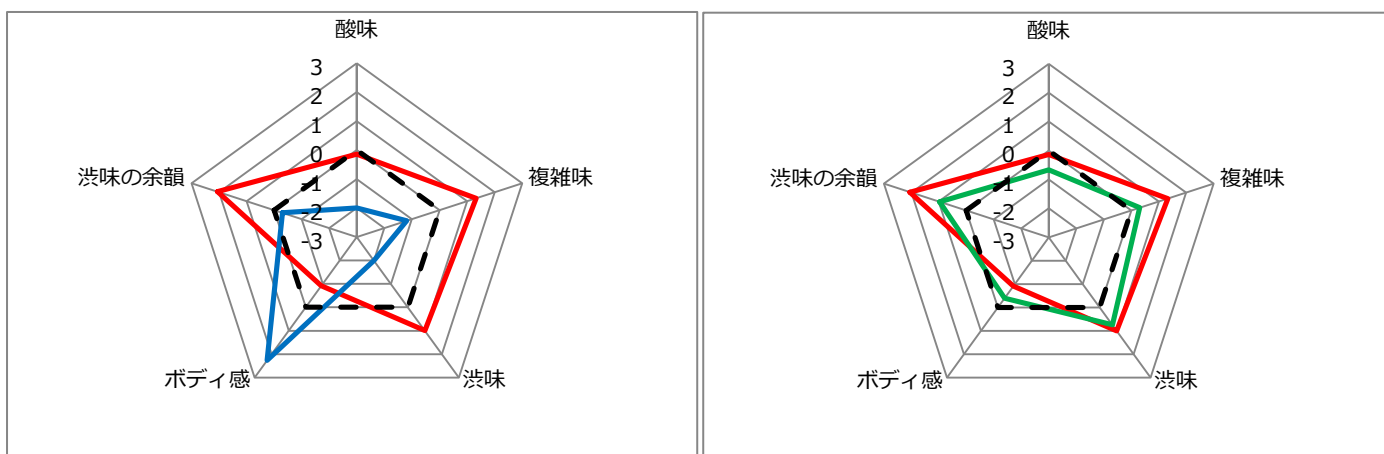
「ぶどうの成熟は着々と進んでいる。この数日間が涼しいことを考えると、糖度の上がり具合は良い。雨にも関わらず、PHは低いので、生産者は最適な熟度でぶどうを収穫するために理想的な瞬間を、自信を持って根気よく待つことができるはずである。このような好条件の中で、ボジョレーワイン委員会は、昨年に近い、高い評価を受ける市場になると予想している。」【2014年8月 ボジョレーワイン委員会プレスリリースより抜粋】

市販のボジョレーヌーヴォー約30アイテムの味わいを味覚センサーにて分析しました。

結果（30品のうちジョルジュデュブッフ）は、昨年と比べ酸味、複雑さ、渋味の余韻が強く、ベースとしてしっかりした味わいであることがわかりました。一方でボディ感は若干控えめで、口当たりは幾分まろやかでもあります。

ここ10年間では2006年（ジョルジュデュブッフ）の味わいバランスに類似した結果になりました。仲間内やご家族でゆっくりとボジョレーを楽しみながら、8年前のあの味とともに、当時を振り返り、思い出を語りあってみてはいかがでしょうか？

味分析データ



2013年(GDBN) —

2014年(GDBN) —

2006年(GDBN) —

2014年(GDBN) —

※GDBN：ジョルジュデュブッフボジョレーヌーヴォーの略

[本件に関する報道関係者 お問い合わせ先]

株式会社味香り戦略研究所 研究開発部 早坂／高橋

TEL 03-5542-3850 / FAX : 03-5542-3853 E-mail sales@mikaku.jp